

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Baseline staging in cutaneous malignant melanoma.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ9-3	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 （ I V ）	
	Pubmed ID	15099363	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Br J Dermatol	
	雑誌 ID		
	巻	150	
	号	4	
	ページ	677-86	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ 2 ）	
	発行年月	2004 Apr	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Hafner J	University Hospital of Zurich
その他著者 1		Schmid MH	同上
その他著者 2		Kempf W	同上
その他著者 3		Burg G	同上
その他著者 4		Kunzi W	同上
その他著者 5		Meuli-Simmen C	同上
その他著者 6		Neff P	同上
その他著者 7		Meyer V	同上
その他著者 8		Mihic D	同上
その他著者 9		Garzoli E	同上
その他著者 10		Jungius KP	同上

一次研究の 8 項目	目的	転移を早期発見するため、 baseline staging の感度・特異度を評価する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	チューリッヒ大学皮膚科	
	対象者	1999 年 8 月から 2002 年 3 月までに 1.0mm 以上の新規に診断された患者。	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 22 ）	
	介入（要因曝露）	診察、超音波検査、胸部 X-P、PET、センチネルリンパ節生検	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	リンパ節転移または遠隔転移	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	リンパ節転移について% 感度 特異度 陽性的中度 陰性的中度 診察 12(6-28)100(95-100) 25(5-57) 74(63-8) PET(所属リンパ節) 8(1-25) 100(95-100) 100(16-100) 76(66-84) 超音波（所属リンパ節） 8(1-25) 88(78-94) 18(2-52) 73(63-82) 超音波と PET 12(6-28) 88(78-94) 25(5-57) 74(63-83) 遠隔転移について% 感度 特異度 陽性的中度 陰性的中度 胸部 X-P --- 96 (90-99) 0(0-60) 100(96-100) 腹部超音 --- 97 (91-99) 0(0-71) 100(96-100) 全 PET --- 98 (93-100) 0(0-84) 100(96-100) 上記の複合 --- 91 (84-96) 0(0-34) 100(96-100)	
	結論	触診と所属リンパ節の超音波検査を組み合わせると macroscopic リンパ節転移の大部分を検出することができる。 baseline staging で遠隔転移を検出するのは難しい。	

	備考	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	古賀弘志
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ I V ）